

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

集計
(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	正			個別で学習可能なスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	正			余裕を持って配置されており、安心して療育に 向かえている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	下	下		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 しているか	正			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	正			頂いた意見等、事業所内で実施し療育に活かして いく、あつたかい言葉はスタッフ一同励みにし より層質の向上につなげている。 評価はスタッフで共有し、改善すべき点は会キで 意見を出している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	下	一		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	下	一	下	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	下	一		定期的な外出研修や他事業所への視察研修 を行うことで自ら見直しより良い支援へとつなげる。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	正			こちらの考えと利用者のニーズに差が出ていよう 児発管を主に施設内で会キによる作成が している。
適切な支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	下	一		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	正			活動内容に入れば、スタッフ全員で意見交換を行 い共有。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	正			飽きることや頻りにスタッフ同士で意見を出し支 援に専心取り組んでいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	下	一		言葉もであるがイベントを企画し楽しみの中で 学ぶ機会を設けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	正			日毎ごとに区切りをつけ、個別と集団どちらも 一日で兼用できるような内容になっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	下			朝礼を行い、当日利用の子、出席確認、送迎場所 の確認等を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有しているか	下		下	次の日に必ず「振り返り」を行っている。 ↑送迎などで当日は時間的余裕が取れない為
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	下	一		振り返り日に記録を打ちこんだり 支援中に書き込めるノートを準備している。

	⑮	定期的モニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	正			
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	下	下		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	正			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	正	—		下校時刻の確認は学校ではなく保母者で行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	下	—	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	下	下		就学前から利用している子は共有できているが就学後の利用の子の場合はできていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	下	—	当事業所では今の所まだなし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	正			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	下	下		校外活動の際に近隣の学校の子どもと交流する機会がある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	下	—	下	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	正			連絡帳やLINE、てのやりこ他送迎時に様子などを伝えている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	—	—	下	
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	正			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	正			相談は電話LINEを使って対応したり日によっては直接来所して頂き話を聞いている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	正	—		コロナ禍で行えなかったが今年（夏休み）も利用し、保母者会を開催することになった。

	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	正			児発管に主として対応しており、スタッフ向にも情報共有している。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	正			年間の行事予定は4月に配布している。 夏休み等の号外を発行
	⑮	個人情報に十分注意しているか	正			
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	正			
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	—	—	下	子供はしてよい。火で野菜を作っている 方との交流は日々ある。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	下	下		職員向では行っている。 マニュアル等（印刷）も策定している。 保護者にも周知している。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	正			年に2回以上、避難訓練を行っている。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	正	—		毎年事例を使ってスタッフで議論したり 虐待防止に関する知識を増している。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	下	下	議論したり課題に決めること これといった答えが出ない決定には至っていない。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	正		保護者から事前にアレルギーの有無を確認 医師の指示書に基づき対応している。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	正			その場に連動してスタッフが書き出し 誰かがいって見直すようにしている。